

第 43 回 全日本バレーボール小学生大会 宮城県大会 開催要項

主 催	公益財団法人 日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟／読売新聞社
後 援	公益財団法人 日本スポーツ協会日本スポーツ少年団／報知新聞社／ 大崎市教育委員会／加美町教育委員会
協 賛	デザートジャパン株式会社／ゼビオグループ／三井住友信託銀行株式会社／ 株式会社関電工
オフィシャルボール	株式会社モルテン／株式会社ミカサ
主 幹	宮城県バレーボール協会／宮城県小学生バレーボール連盟／ 第 43 回全日本バレーボール小学生大会都道府県大会実行委員会

1. 開催期間 令和 5 年 6 月 2 4 日（土曜日）から 6 月 2 5 日（日曜日）
2. 開催会場 陶芸の里総合運動場（体育館）／大崎市古川総合体育館
3. 参加資格 (1) 2023 年 4 月 1 日 12 歳未満の者で、同年、5 月 1 日現在、国、公、私立の小学校及び各種学校に在学していること。
(2) 公益財団法人 日本バレーボール協会加盟団体登録規定に基づき、2023 年 4 月 1 日以降、公益財団法人 日本バレーボール協会 **JVA-MRS** の登録を済ませていること。
(3) 日本スポーツ少年団 チーム、選手、スタッフとも大会前日までに日本スポーツ少年団登録を済ませていること。
4. 競技規則 2023 年度 公益財団法人 日本バレーボール協会の定める 6 人制競技規則による。
ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。
5. 競技方法 トーナメント方式（種別毎 男子・女子・男女混合）
6. チーム編成 (1) 全ての大会（ブロック大会・地区大会）において、チームは、監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー 1 名、選手 12 名以内とする。
(2) 都道府県大会に出場するチームは、監督・コーチ、マネージャーは同一団体に限り変更できるが、選手については、ブロック大会・地区大会と同じでなければならない。選手は、病気やけがなど特別な事情が無い限り交替はできない。ただし、ブロック大会・地区大会に 11 名以内で出場した場合は、12 名に満たない人数のみ補充することができる。（特別な交代、補充は同一団体に登録されている選手に限る）
※都道府県最終予選に参加した選手は、交代することなくそのままのメンバーで全国大会に出場することになるので、チーム編成には十分注意すること。ただし、補充については、(2) に準ずる。
(3) 監督は成人であること。又、ベンチスタッフの 1 名以上は日本小学生バレーボール連盟認定指導者・日本バレーボール協会認定順指導員及び公益財団法人日本スポーツ協会（JSPPO）認定（コーチ 1・コーチ 2・コーチ 3・コーチ 4）が最低一人はベンチに入っていないなければならない。（ただし、本件は、公益財団法人日本スポーツ協会の制度改正及び日小連指導者資格要領改正の時限措置として、2025 年度までは、旧全国小学生バレーボール指導者 1 次・2 次講習受講者が最低 1 人はベンチに入ること、同様に扱うこととする。）又、試合時には証明書等を胸にさげていなければならない。
(4) 全国大会出場に当たっては公益財団法人日本スポーツ協会（JSPPO）認定バレーボール（コーチ 1・コーチ 2・コーチ 3・コーチ 4）が最低 1 名はベンチに入っていないなければならない。

- (5) ベンチスタッフは、JVA-MRS に登録され、かつ、宣誓書を提出した者に限る。(MRS に役員登録している方もチームスタッフとして登録が必要) 監督、コーチ、マネージャーの服装は短パン、T シャツは不可とし、監督、コーチ、マネージャー章を各チーム側で用意し、必ず左胸に付けること。ただし、小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン T シャツを認める。T シャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。
- (6) 成人のベンチスタッフは、日常子供たちの健全育成を目指して指導に当たっている都道府県大会実行委員会が認めた者であること。体罰、暴力、暴言、セクシャルハラスメント等、子どもを指導する者として不適切な行為を行っている者の出場は認めない。
- (7) 他都道府県在住であって、新年度の登録の際に移籍登録した選手は、ベンチには3分の1以内とする。また、コート上には2名以内とする。他都道府県在住であっても、前年度までに登録していればこの制限の対象とはならない。監督は試合前に、新年度移籍登録選手の番号を審判員と確認しておくこと

- 7. 審判員 公益財団法人 日本バレーボール協会並びに都道府県バレーボール協会公認審判員。
ただし準々決勝までの副審は各チーム帯同審判員(有資格者)で行います。
- 8. 使用球 公益財団法人 日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボール(円周 62~64 cm 重量 200~220 g) 「男子・混合がモルテンボール (V4 M5000-L) / 女子がミカサボール (V400W-L)」を使用する。
※ボールの内気圧については6人制競技規則による。
- 9. 競技服装
 - (1) 選手の背番号は1~99とするが、1~12番が望ましい。
 - (2) ユニフォームの背番号の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用して、誰もが見え易いものにする。
 - (3) 混合チームのユニフォームは、男女で違うユニフォームを着用し、番号が重ならないようにする。ただし、違うユニフォームを用意できない場合は、同一ユニフォームでもかまわないが、男子・女子のいずれかが、識別用バンドを腕か足首に着けるか、またはソックスの長さや色などで区別できるようにすること。
 - (4) ユニフォームの胸部もしくは背部に JVA-MRS に届け出たチームネーム又はそれを特定できる略称を付けること。
- 10. 表彰 種別毎 優勝：賞状・トロフィー、準優勝：賞状・トロフィー、3位：賞状
- 11. 実行委員会の設置 宮城県小学生バレーボール連盟内に実行委員会を設置し、大会の企画・運営に当たる。
- 12. 大会運営 都道府県大会実行委員会は、役割分担を明確にした上で役員を構成し、大会開催要項に基づき大会運営に当たる。
- 13. スポーツ傷害保険 スポーツ傷害保険には団体単位で必ず加入のこと。
- 14. 全国大会への参加チーム数 都道府県大会の結果、全国大会に出場するチームは、宮城県小学生バレーボール連盟が推薦する男子・女子・混合各1チームとする。北海道は南北に分けて男子・女子・混合それぞれ1チームずつの計6チームとする。開催地(東京・神奈川・千葉)は、男子・女子・混合各1チームを加える。
- 15. 東北大会への推薦 本大会は東北選手権出場選考を兼ねている。宮城県からの推薦チームは男子 1チーム・女子2チーム・男女混合2チームとする。
- 16. 問い合わせ先 宮城県小学生バレーボール連盟 競技委員会 委員長 本間 博利
携帯電話 090-8250-1351